



2021年9月10日

各位

会社名 株式会社OSGコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
 (コード：6757 東証JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
 (TEL. 06-6357-0101)

2022年1月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年1月期第2四半期(2021年2月1日～2021年7月31日)の業績予想値と実績値との差異及び通期(2021年2月1日～2022年1月31日)の業績予想について、2021年3月11日の「2021年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 2022年1月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正

(1) 第2四半期(2021年2月1日～2021年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,900	760	760	350	67円37銭
実績値 (B)	5,158	677	690	404	77円79銭
増減額 (B-A)	△741	△82	△69	54	
増減率 (%)	△12.6	△10.9	△9.1	15.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期第2四半期)	5,166	713	720	346	71円91銭

(2) 通期(2021年2月1日～2022年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	11,800	1,520	1,520	700	134円74銭
今回修正予想 (B)	11,100	1,520	1,520	700	134円74銭
増減額 (B-A)	△700	—	—	—	
増減率 (%)	△5.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	10,235	1,250	1,254	583	118円15銭

2. 修正の理由

当連結会計年度における第2四半期の業績予想値と実績値との差異理由は以下のとおりであります。

前連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大し、1回目の緊急事態宣言が発出された時期であり、アルコール消毒液の不足から弊社製除菌水の特需効果がありました。しかしながら、当上期におきましては、特に「消毒」・「衛生」に対するニーズの高い飲食業界・ホテル施設等では、関心は高いものの、繰り返し時短や休業要請による影響を受けており、業界そのものが回復していないために設置には至りませんでした。

また、上期に計画しておりました新製品の投入につきましても、家庭用素水生成機器及び次亜塩素酸水生成機器の部品調達に大幅な遅れが生じ、下期に延期となったことにより、上期業績に大きく影響いたしました。

通期につきましては、前述の通り部品調達に遅れが生じておりました家庭用素水生成機器が第4四半期より、また、次亜塩素酸水生成機器が下期より発売となり、新製品の投入が業績に寄与すると見込んでおります。

従いまして、当初の下期予想に大幅な変更はなく、期首の通期売上高計画から5.9%減少するものと予測しております。また、経費削減活動の効果が表われ、収益性が向上することを勘案し、営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は期首の計画通りとなります。

3. 配当予想について

当初の予定どおり、1株当たり40円の配当を予定しております。

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件、要素により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上